

2024年10月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、すべての活動の原点を「農業」「組合員」「地域」におき、「安心して食べられる農畜産物づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「安心して利用できる」JAづくり」の3つの安心作りを理念と掲げています。
- 当組合はこの理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまの安定的な資産形成・資産運用との提供を通じて、安心して暮らすことのできる地域社会作りに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

はくい農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品の提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

- お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選びやすさを考慮し選定します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2024年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	7 (前年度末：4)
株式型	5 (前年度末：5)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	8 (前年度末：8)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

長期投資

- 長期投資を前提とした投資信託であること

手数料

- 手数料が良心的な水準であること

運用実績

- 過去の運用実績が相対的に良好であること

将来性

- 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

運用体制

- 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

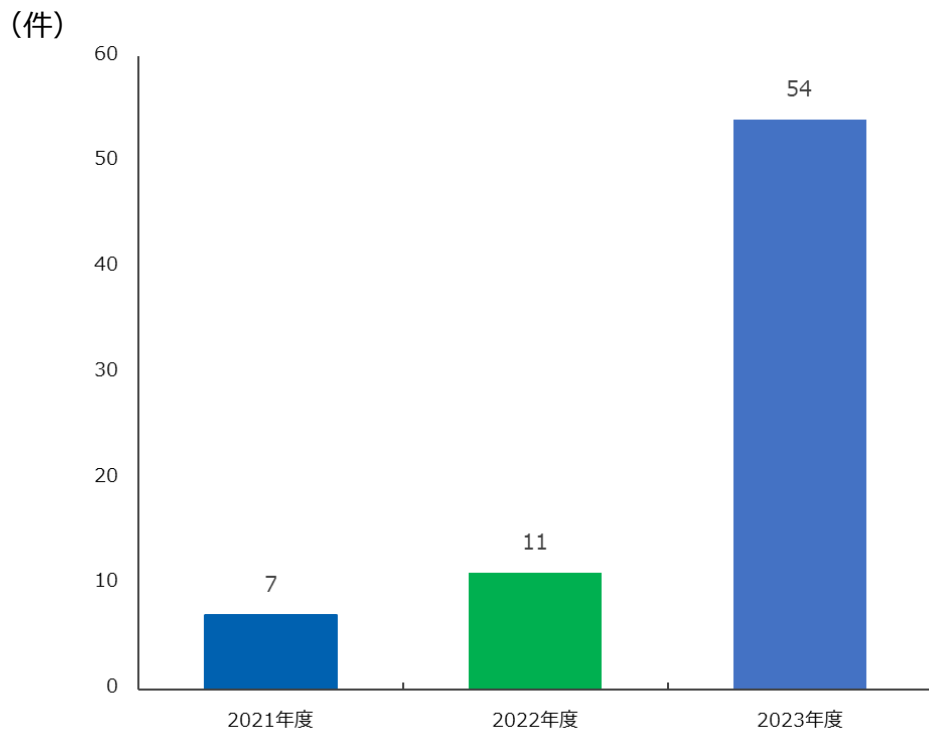
2 お客さま本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1、2、4、5)】

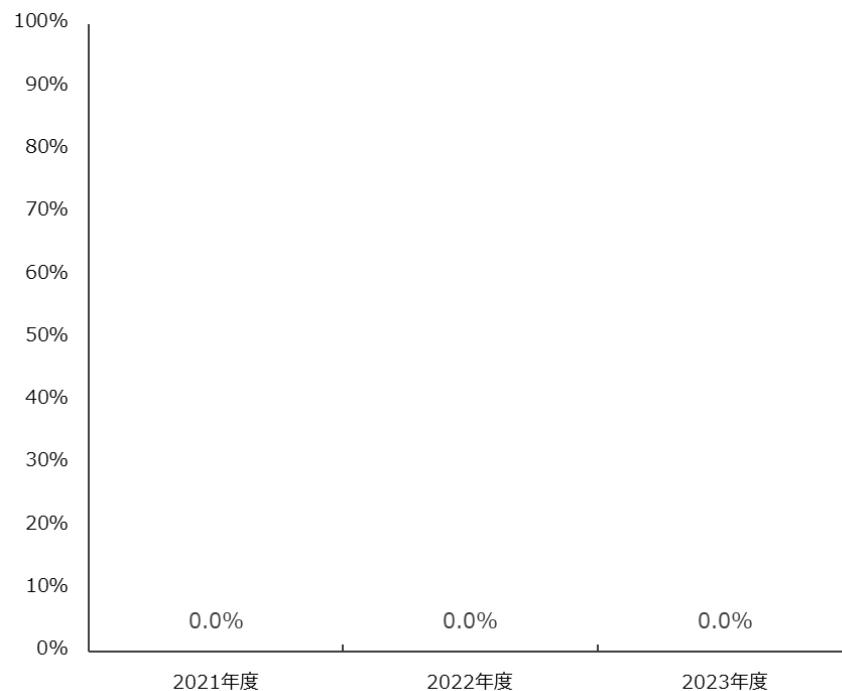
(1) 信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、お取引の目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、資産運用の必要性から商品の絞り込みまでについて資産運用ガイダンスやスタイル診断シートを用いて必要な情報を十分にご提供します。また、JAバンクセレクトファンドマップにより商品のリスク特性・手数料・その他重要な情報を分かりやすく丁寧に説明いたします。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ

リスク・リターン 小 ← 大

安定型 中間型(安定～中間) 中間型(中間～積極) 積極型

バランス コア

債券

アセット

株式

REIT

左からリスクの小さい順番に並んでいるんだね!

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね!

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が優遇的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性 資産形成には、適度に分配金を支払う投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって最適な提案を目指し、投資信託を厳選しているんだね!

はい農業協同組合 登録金融機関 北陸財務局長（登金）第58号

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」
(金融商品取引法)

1. 当組合の基本情報 (当組合はお客様に金融商品の販売（又は販売仲介）をする者です)

商品名	はい農業協同組合
登録番号	北陸財務局長（登金）第58号
加入協会	あいぜん
組合員の皆様へのご挨拶	https://www.ja-jp.jp/ai/

2. 取組内容 (当組合がお客様に提供する金融商品の情報は次のとおりです)

商品名	はい農業協同組合	商品名	はい農業協同組合
国内株式	○	外国株式	○
債券	○	外国債券	○
商品名	はい農業協同組合	商品名	はい農業協同組合
国内債券	○	外国債券	○
商品名	はい農業協同組合	商品名	はい農業協同組合
国内債券	○	外国債券	○
商品名	はい農業協同組合	商品名	はい農業協同組合
国内債券	○	外国債券	○

3. 商品ラインアップの考え方 (商品ラインアップのコンセプトや特徴は次のとおりです)

JAバンクでは、いろいろな投資に関する商品をご用意し、お客さまのニーズに合わせた商品を提供しています。また、三井住友VISAカードと提携し、JAバンクの投資信託を投資一括金として一括購入することができます。

【JAバンク セレクトファンドについて】

JAバンク セレクトファンドは、主に以下の基準をもとに商品を選定しています。選定にあたっては外部機関の調査結果も参考にしています。なお、当組合は商品の運用実績をモニタリングを行っています。

①長期投資 長期投資を前提とした商品であること

②手数料 手数料が優遇的な水準であること

③運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること

④将来性 資産形成には、適度に分配金を支払う投資信託ではないこと

⑤運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

上記の考え方には、JAバンクの責任も含まれています。また、そのほかの投資信託と比べて、JAバンクでは、5分間隔で4分間隔、それ以外の投資信託と比べて、5分間隔で4分間隔です。

【ファンドの考え方】

JAバンク セレクトファンドは、主に以下の基準をもとに商品を選定しています。選定にあたっては外部機関の調査結果も参考にしています。なお、当組合は商品の運用実績をモニタリングを行っています。

①長期投資 長期投資を前提とした商品であること

②手数料 手数料が優遇的な水準であること

③運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること

④将来性 資産形成には、適度に分配金を支払う投資信託ではないこと

⑤運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

上記の考え方には、JAバンクの責任も含まれています。また、そのほかの投資信託と比べて、JAバンクでは、5分間隔で4分間隔、それ以外の投資信託と比べて、5分間隔で4分間隔です。

4. お問い合わせ窓口

当組合の事務窓口	0767-26-3340
加入協会との連絡窓口	あいぜん
金融商品取引法に基づく苦情相談窓口	0570-016811 (03-5251-6811)

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した監査室を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①お客さまと当組合の間の利益が相反する類型
（例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合）
 - ②特定のお客さまの利益を他のお客さまの皆さまの利益より優先する取引
（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

① お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、お客さまに最適な金融商品の提供を行うため、提案力向上に向け定期的に勉強会の開催や資格取得の推進を通じて人材の育成を図り、お客さまに対して、最適な金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、継続的に職員育成を行う態勢を構築します。

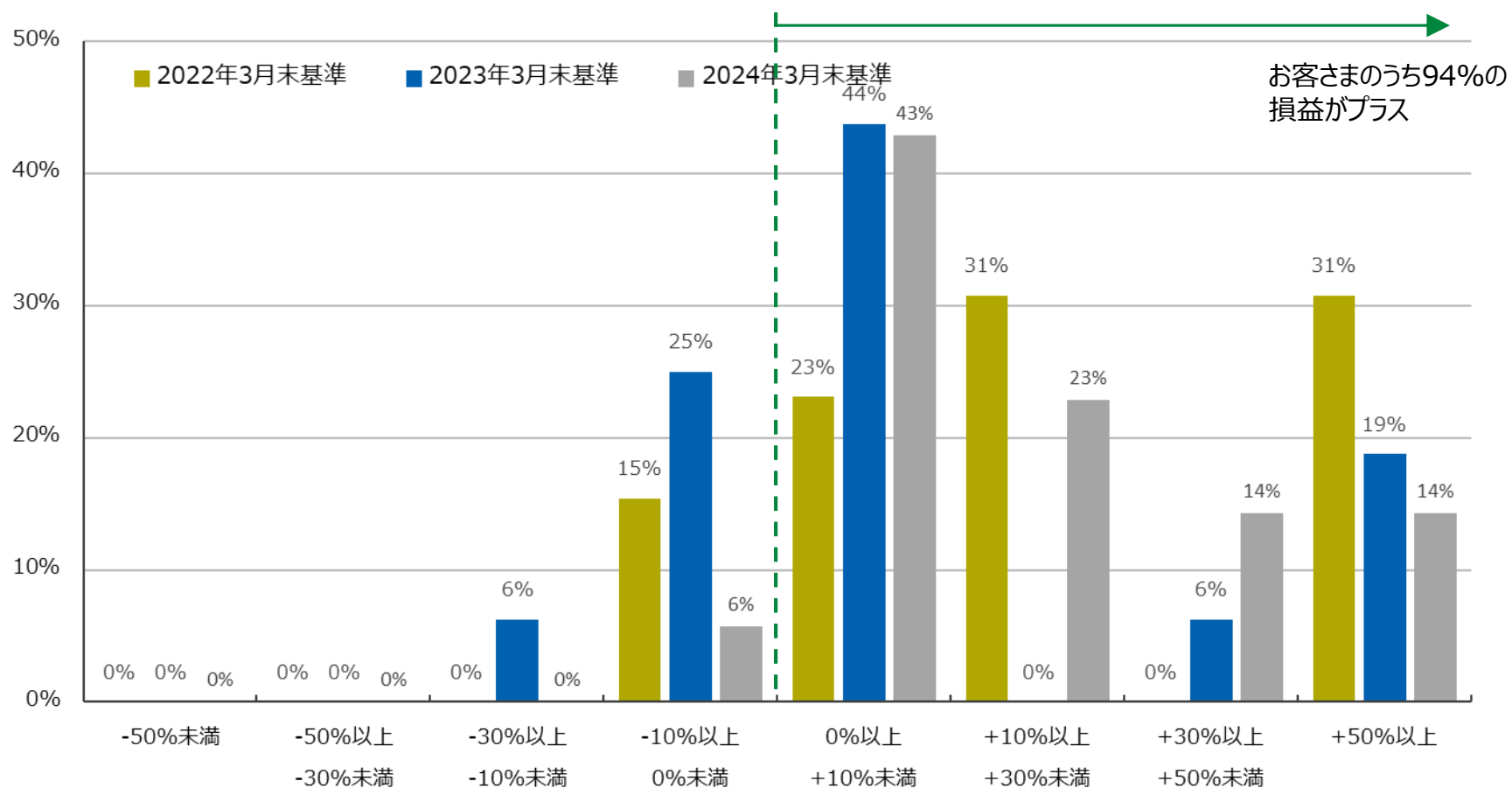
② お客さまの声を活かした業務改善

- 当組合は、お客さまから日々寄せられるさまざまな「声（お問合せ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、その声に込められた「思い」を大切に業務改善に努めております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の94%のお客さまの損益がプラスとなりました。

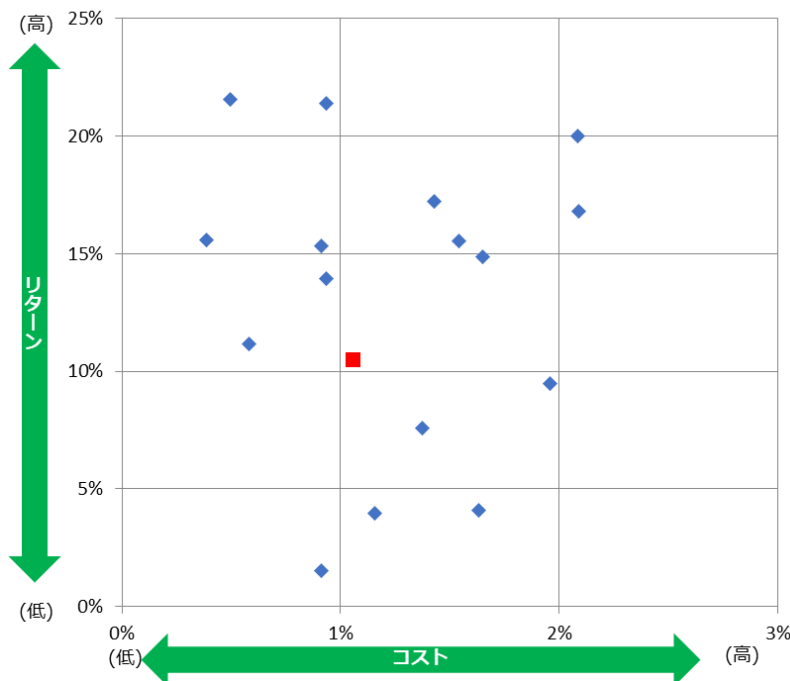


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

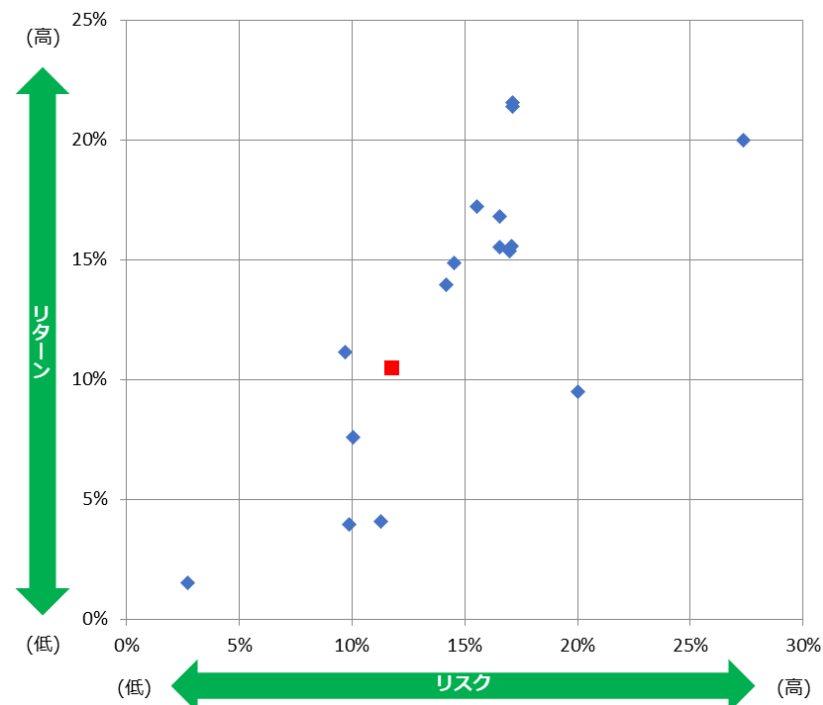
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.06%、平均リスク11.77%に対して、平均リターンは10.48%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



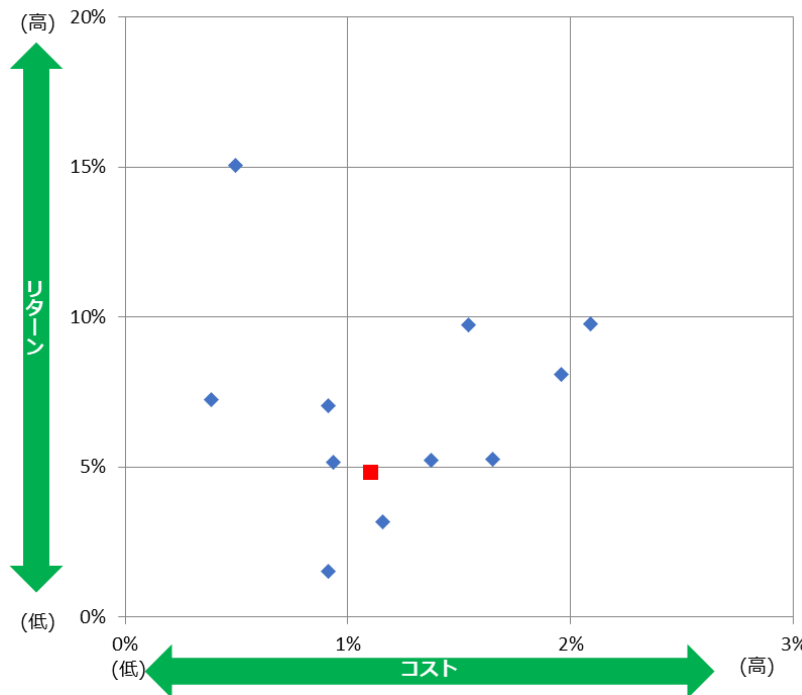
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

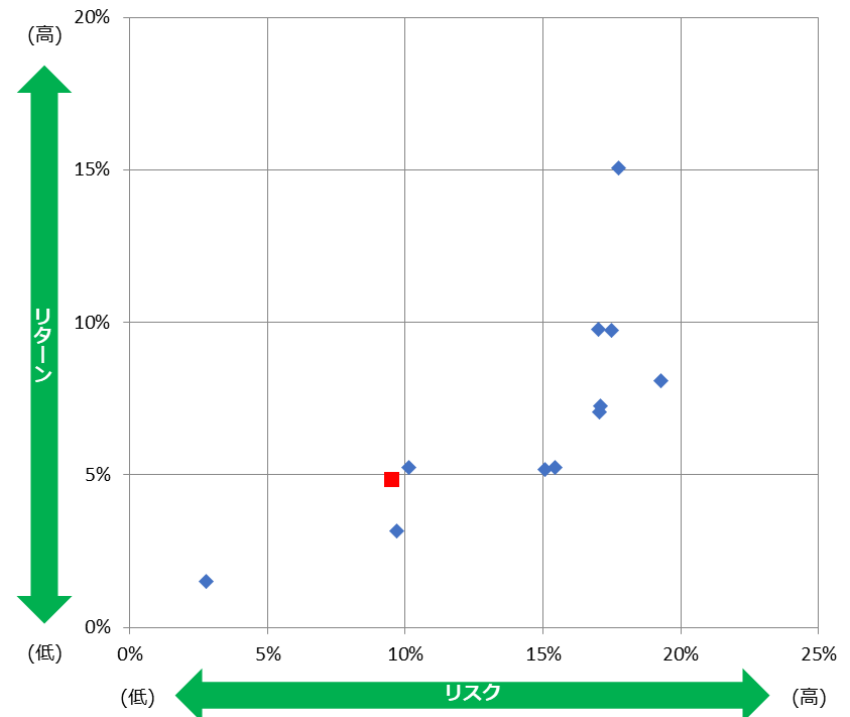
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.10%、平均リスク9.50%に対して、平均リターンは4.84%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



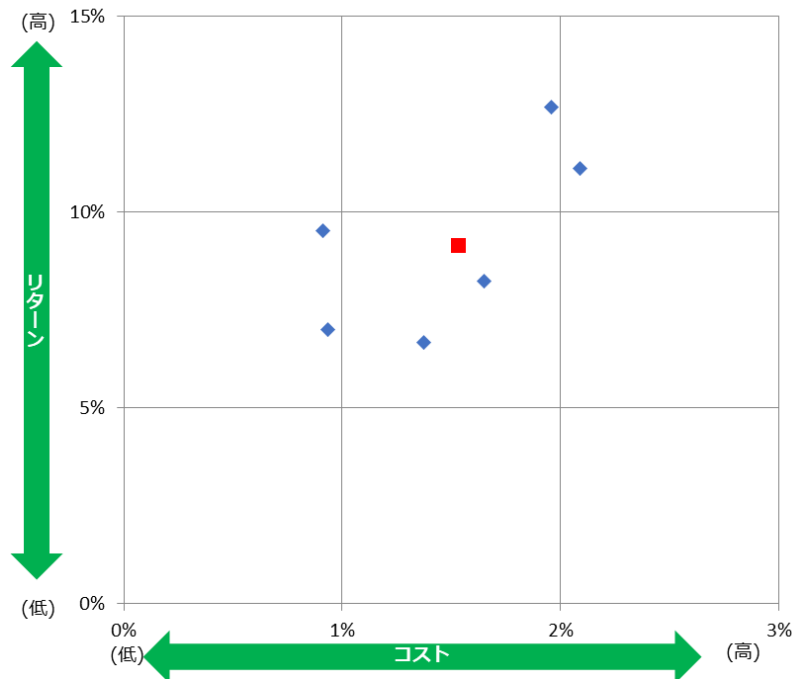
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

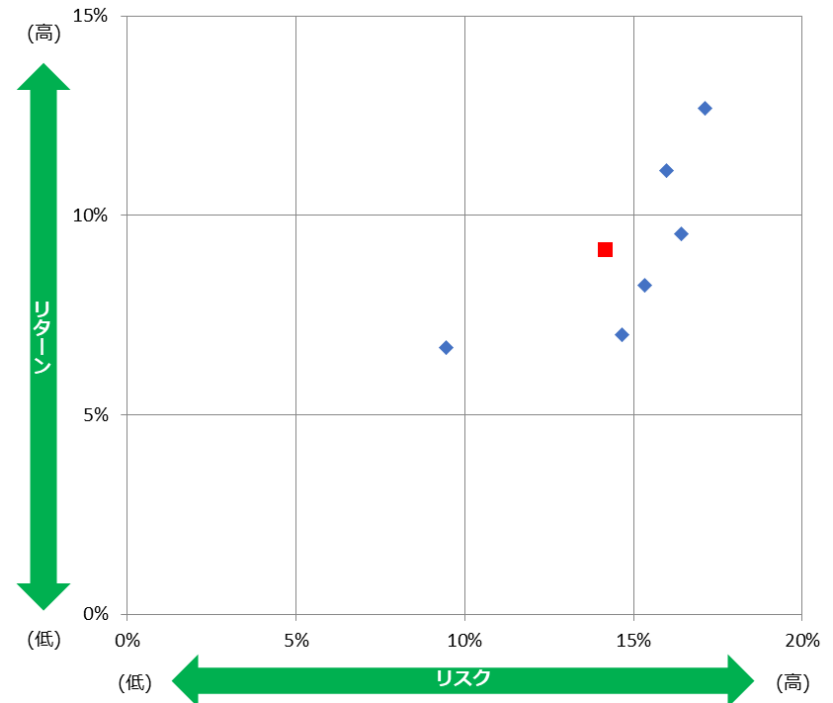
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.53%、平均リスク14.17%に対して、平均リターンは9.14%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
5	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
6	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
7	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	16.82%	16.55%	2.09%
8	JA日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.87%	14.53%	1.65%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
11	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
13	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
14	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
15	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
16	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.48%	11.77%	1.06%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は16本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.76%	0.91%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.16%	9.68%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S & P 500	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	5.23%	10.14%	1.38%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.05%	17.04%	0.91%
6	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	9.76%	16.99%	2.09%
7	JA日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	5.24%	15.43%	1.65%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント (株)	8.09%	19.30%	1.96%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.26%	17.10%	0.39%
10	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	5.17%	15.06%	0.94%
11	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	9.73%	17.50%	1.54%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.84%	9.50%	1.10%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
3	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
4	J A 日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	8.25%	15.35%	1.65%
5	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
6	J A T O P I X オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.14%	14.17%	1.53%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。